

# 総合選対ニュース

第 1 号 ( ' 08.09.03)

発行 兵庫県衆議院総合選挙対策委員会

2008 年 9 月 3 日

兵庫県衆議院総合選挙対策委員会

委員長 辻 泰弘

委員長代行 森本 洋平

## 衆議院総選挙体制の早期確立についての緊急要請

一昨日 9 月 1 日、福田総理は緊急記者会見を行い、「新しい布陣の下に政策の実現を図るべき」として退陣を表明した。

1 ヶ月前に内閣改造を行い、国民目線の改革を謳い、近く開会予定であった臨時国会における経済対策を中心とする補正予算の編成、消費者庁の創設、労働者派遣法の改正など声高に叫んでいた日本の政治のトップリーダーたる人物が、直前になって実現に向けた努力を完全に放棄し、政権を投げ出したことは言語道断であり、その極めて無責任な姿勢は厳しく糾弾されなければならない。

このような情熱なき、責任感なき、リーダーシップなき総理大臣しか輩出できない自民党に、これ以上日本の政治を託すことはできない。もはや、政権政党としての自民党の時代は確実に終わろうとしている。

この緊急事態の進展により、9 月末に開会予定の臨時国会において衆議院が解散され、総選挙が行われることが必至となった。

今や、「10 月解散・11 月選挙」さえも現実味を帯びつつある。

かかる状況に鑑み、各衆議院選挙区陣営にあっては、選挙体制の早期確立をはかり、万全の態勢をもって解散・総選挙に備えるべきである。

間近に、政権交代の実現がある。目前に生活第一の政治の実現がある。その確信の下、民主党政権の樹立に向け、断固たる決意をもって闘いに挑もうではないか。この兵庫から日本の政治を変えようではないか。

ここに、各陣営の総力を結集した闘いの体制の早期確立を要請する。

以 上